

条例改正
全員賛成で可決

県内初、子ども3人目からの保険税を減額
国民健康保険条例の一部改正

多子世帯の負担を軽減し、子育て世帯を支援する目的で、3人目のお子さんから保険税負担、最大3万6000円余りを減額する提案がなされました。

問 新たな減免の対象は18歳未満の被保険者が3人以上いる世帯の納税義務者ということですか、これについては所
答 要件はあるのか。

問 子育て支援策という観点から、所得要件は設けていない。
答 ゼロ歳児から18歳未満の被保険者は、何人いるのか。

問 2576人となっている。
答 3人目からの均等

割の減免ということだが、18歳未満全員を減免の対象とすることは考えなかったのか。
答 すべての子どもの均等割の減免は、国民健康保険の広域化とともに国は導入を検討している。試算では約9300万円の影響が出るので、一保険者である市の保険税収入では、賄い切れない。国、県には要望していきたい。



多子世帯を応援



補正予算
全員賛成で可決

子育て応援手帳で母親をサポート
子ども・子育て支援対策事業
補正額131万2千円

子育ての情報を母親、父親、祖父母が共有し、子育てと仕事を頑張っている母親の負担を少しでも和らげ、家族とともに子育てを楽しむことを目的に子育て応援手帳が作成されます。

問 作成の目的は。

答 子育てと仕事に孤軍奮闘している母親の負担が少しでも和らぎ、そしてこの手帳を読むことによって父親や祖父母ともに子育てを楽しむ中から、子育ての充実を図っていきたい。

問 読んでもらうための工夫は。

答 周知方法としては、市報、県、市のホームページ、子育てタウンアプリ、Fメールなどを活用する。また、市内の子育て関連団体等での活用も呼びかける。

条例制定
全員賛成で可決

利用しやすいスポーツ施設へ
市立スポーツセンター条例

市内で利用されている各スポーツ施設を一体的に管理・運営するための条例が提案されました。受益者負担の考えから、施設の利用料金も設定されています。

問 条例制定の趣旨は。

答 総合体育館を中心とするスポーツゾーンの整備と併せて、現在個別に制定されているスポーツ施設の条例を一本化する。また、運動指導室を上野台体育館のトレーニング室とし、指定管理者による指導など一体的に管理する。

問 総合体育館、上野台体育館、駒林体育館、それぞれの利用状況は。

答 総合体育館が年間約70%、上野台体育館が約98%、駒林体育館も同じく98%と高い稼働率となっている。



総合体育館で行われたふれあいスポーツ大会

補正予算
全員賛成で可決

ごみ分別をすすめた市民の成果
再商品合理化収入
補正額1222万4千円

一般会計補正予算(第7号)の委員会審査で、雑入の項目に再商品合理化収入があり、この内容の説明を求める質疑が行われました。

問 再商品合理化収入とは何か。

答 今回約1200万円の増額補正をしたが、容器包装プラスチックは、公益財団法人容器包装リサイクル協会から分別の精度が良いと評価され収入が得られたという内容である。

問 結果が、この数字になって表れているという認識で良いか。
答 そのとおりである。
問 ごみの減量化の金メダルといえる。市のホームページで、この結果について掲載する予定はないか。
答 ホームページや市報等に掲載していきたい。



市内から集められた容器包装プラスチック

議会基本条例の制定に向けて始動!

ギカイの動き

地方分権時代における自主的・自立的な議会のあり方と、議会の基本的な役割や組織、機能、権限等を定めた「議会基本条例」を制定することで、より市民に身近で開かれた議会を目指します。

平成29年9月定例会において「議会基本条例」を制定するため、議会に関する条例の制定に向けた特別委員会が設置されました。委員は各会派から選出された5名の議員により構成されています。委員会の役割は、条例案の策定とそのための調査研究や意見聴取等を行うことです。策定に当たっては、今月に市民との意見交換会を行うほか、4月にパブリックコメントを行う予定であり、市民参加のもとに行います。平成30年6月定例会への議案上程を目指して策定作業を進めていきます。

議会基本条例に関する意見交換会

議会基本条例案の説明の後に、市民の皆さんのご意見をいただき、意見交換を行います。ご参加をお待ちしています。

1日時 平成30年2月25日(日)午前の部=午前10時~正午 午後の部=午後2時~4時(都合の良い回にご参加ください。)

2場所 市役所 本庁舎5階 全員協議会室

3内容 初めに60分程度条例案を説明し、その後意見聴取・意見交換を行います。

議会インターネット放映の実現に向けて

議会のインターネット放映についてのルール作成、YouTube(ユーチューブ)への動画の投稿方法・課題などの検討、議員の継続的なICT研修などを行っていきます。



ICT研修会の様子

議会ICT化推進会議では、議会のインターネット放映についてのルールを要綱案としてまとめました。これから議長への報告を行う予定です。これと同時に並行でYouTubeへの動画の投稿方法・課題などを実際の作業を通じて検討しています。また、昨年5月から本会議、委員会においてタブレット端末が導入されましたが、その後の利用状況について議員全員にアンケートを実施しました。利用実態に応じた研修を行い、各議員がさらにタブレット端末を有効活用できるようにし、情報公開、議会活性化を図ります。